

### 南郷小学校

「いつも笑顔で元気です」

校長 坂本 恭美子

稲穂が実る田んぼ道の向こうから、ランドセルを揺らし今日も子どもたちが元気に登校してきます。

先日嬉しい便りが届きました。紙の博物館(いの町)主催の「第37回紙とあそぼう作品展」に出品していた全児童共同作品「らんまん」と校風守る太刀踊り」が見事「大賞」を受賞しました。そこで、記念し、本校の明るさ、輝きを「南郷らんまん」と称し紹介させていただきます。



#### ◆南郷らんまん①

生活綴る

日常の何気ない会話や自然の変化など、素直な感性で見たこと・感じたことを文に綴ることを大切にしています。普段の会話や行動からは伺い知れない子ども

の心の声が聞こえるようです。作品は新聞に投稿したり、作文コンクールに挑戦したりしています。

「6年生と複式で一緒に勉強ができます。授業をしてくれる先生もとてもやさしいです。そんなことがあるから月曜日が楽しみになります。早く月曜日になってほしいです」、「いちご摘みに行きました。ハウスに入ると、ぱつと赤いいちごが目に入ってきました。ぼくは、すぐ近くの大きないちごをとって口に入れました。口の中がいちごジュースをのんだみたいになりました」、「入学式が終わって1年生が帰るころには、雨もやんで気持ちのいい空になっていました。新1年生が入学してきて新学期が楽しくなる予感がします」生活の中は、作文の種であふれています。

#### ◆南郷らんまん②

小さな命を慈しむ

2年前からイシガメの「みどりちゃん」を学校で育てています。小さな命を慈しむ、自他の命を大切にできる人になって欲しいと願います。

ます。お世話の中心は3年生。毎朝登校すると、「みどりちゃん」の部屋(青い大きなたらい)をみんなで持ち上げ太陽の光が降り注ぐ玄関まで運びます。イシガメは日光浴が必要だということとを調べたのでしよう。昨年度は冬眠させるべきか試行錯誤し

冬を無事に乗り越えられました。「みどりちゃん」はすつかり南郷小学校の1員です。



#### ◆南郷らんまん③

挑戦! クラブ活動

令和3年度から、本校のクラブ活動は外部の専門家に指導をお願いしています。「エコクラブ」「ダンスクラブ」「囲碁クラブ」の3つのクラブです。4年生以上が参加し、挑戦するのが楽しくなる学習内容です。「囲碁めっちゃ楽しい!上達したい! (囲碁クラブの子どもの声)」、「キレッキレのダンスがかっこいい (ダンスクラブを見学した下級生の声)」、「ふるさとの自然を満喫できる体験活動を考えています (エコクラブ指導者の声)」。自慢の3クラブです。

#### ◆南郷らんまん④

蘇った校舎

今年3月、国の長寿命化計画に伴う校舎の外壁や屋根などの改修工事が終了し、平成2年の新校舎改築当時の面影が今に蘇りました。瓦屋根のオレンジ色は当時の色の復元です。建築デザインと屋根や壁面の配色は、海からの潮風を受け、ヨーロッパの港町に見られる建物を彷彿とさせます。



3月4日(土)は、家庭・地域の皆さんや式典(餅投げ)に際して寄付を賜った皆さんを招待して校舎改修を祝う餅投げを開催しました。

スチールパン演奏が式典を華やかに盛り上げてくれました。「南郷最高!」くす玉を割ったPTA会長の言葉です。

#### ◆南郷らんまん⑤

考える自立・貢献

学校での学びの1つに、社会の一員としての自覚と責任を育てることがあります。自分さえよければいいという考えではなく、誰もが安心できる学校生活にしたいために、友だちと協力すること、意見が衝突しても折り合いをつけること等を集団の中で学びます。(どうしたらいいか)自分で解を見つけることが大切です。上級生は、登校すると真っ先に委員会の仕事をします。児童会は「あいさつ運動」に取り組んでいます。



55人の子どもたちと15人の教職員がいることで、学校に笑顔の花が咲きます。



佐賀中学校

「人間を大事に」

「自他ともに大切にすることができよう」

校長 宮崎 宏治

◆はじめに

本年度は校区の拳ノ川小より1名、佐賀小より17名計18名の新入生を迎え、全校生徒52名、教職員18名で2023年度の教育活動がスタートしました。

◆本校の学校教育目標

本校では長年に渡り「人間を大事に」自他ともに大切にすることができよう」を学校教育目標に掲げ、人権・同和教育を基本に据えながら、さまざまな教育活動に取り組んできました。また、2012年に内閣府が公表した南海トラフ地震の被害想定で全国最大級の34・4mの津波高が示されてからは、防災教育にも力を入れて取り組んでいます。

◆本校のめざす生徒像

本校では、育成をめざす生徒像を次のように設定しています。

○自他の違いを認め、自他ともに大切にできる生徒

○学ぶ意欲を持ち、自ら考え行動できる生徒

○ふるさとを愛し、ふるさとを誇りに思い、ふるさとに貢献する生徒

○困難に負けず、最後までやり抜く生徒

◆佐賀中作法「時を守り 場を清め 礼を尽くす」

時間を守る、身の周りの整理整頓・後片付けをする、誰に対しても誠実な接し方をする。こうした習慣は、学校生活だけでなく、将来の社会生活においても大切に付けて欲しいものです。

◆本校の取組の紹介

1、地域との連携の推進  
令和3年度から、隣接する佐賀小学校と合同で学校運営協議会を立ち上げ、子どもたちの健やかな成長をめざし、学校、地域が一体となって子どもたちの成長を支援する取組を進めています。

◆本校の取組の紹介

2、保小中の連携  
本校は、長年に渡り校区にある佐賀保育所、伊与喜小学校、拳ノ川小学校、佐賀小学校と連携した取組を行ってきました。具体的には、管理職がお互いに保育所や学校を訪問し、保育や授業の現場を参観し意見交換を行ったり、8月に全教職員による合同研修会を開催したりしています。

また、中学生が家庭科の保育の授業の一環として佐賀保育所の子どもたちと交流したり、佐賀小学校への絵本の読み聞かせを行ったりしています。今年度からは、拳ノ川小学校にもICT機器を活用した遠隔での読み聞かせを予定しています。

3、中学校教員による小学校での授業  
これまでも隣接する佐賀小学校の授業を中学校教員が参観したり、道徳の授業などを年に数回行ったりしています。

4、防災お年寄り訪問  
新型コロナウイルスの感染拡大のため2019年を最後に実施を見合わせていた「防災お年寄り訪問」ですが、6月27日(火)に4年ぶりに実施しました。全校生徒が2、3名のグループにわかれ、佐賀地区の約60人のお年寄り宅を訪問しました。

また、今年度から、隣接する佐賀小学校と合同で学校運営協議会を立ち上げ、子どもたちの健やかな成長をめざし、学校、地域が一体となって子どもたちの成長を支援する取組を進めています。5月30日(火)に1回目の学校運営協議会を開催し、今年度は、「挨拶」「防災」「つながり」を柱に取組を進めて行くことを確認しました。

また、今年度から、隣接する佐賀小学校の授業を中学校教員が参観したり、道徳の授業などを年に数回行ったりしています。5、6年生の英語と体育を通年で教えに行くようになりました。

また、今年度から、隣接する佐賀小学校の授業を中学校教員が参観したり、道徳の授業などを年に数回行ったりしています。通年で授業を行うことで、小学校での指導内容と中学校での指導内容のつながりがより一層明確に理解できるようにになりましたし、小学生と直に触れ合うことで、児童の発達段階についての理解も深めることができていると、この経験を来年度、拳ノ川小、佐賀小からの新入生の学習指導・生活指導に活かして行きたいと思っています。

